

4.23

二百三十万都市・名古屋の新たなりーダーを決める名古屋市長選が二十三日、投開票される。有力二候補は、元の上司と部下という因縁の対決だ。中日新聞は市長を選ぶ際の判断材料に「なごや市長選新聞」を発行した。「百の質問」を候補者に尋ねたほか、有力二候補には、「絶対にやる」目玉公約を直筆で表明してもらった。

(四角い上の直符)

過去の投票率は？

(敬称略)

1951(昭和26)年4月23日(第2回)

208 736 塚本 =

208 178 小林橘川

1981(昭和56)年4月26日(第11回)

280,826 本山政雄

63,533 竹内義次

以下略

履歴書	かわむら たかし
生年月日	1948年 11月 3日 (68歳)
身長・体重・血液型	175 cm 82 kg O型
学歴・職歴	富士幼稚園、旭丘小、桜丘中、旭丘高、一橋大商学部卒業、河村商事、衆議院議員(5期)
趣味・特技	歴史街道歩き、焼酎を飲む
免許・資格	大型自動車免許
家族構成	妻(65歳、会社役員)長男夫婦、孫3人
座右の銘	夢、負けるものか!!
尊敬する人物	リンカーン(第16代米大統領)

河村たかし選挙事務所

〒461-0049 東区古出来2-5-11
☎052(711)0008
ホームページ <http://takashi-kawamura.com/>

【戦いと主張】
市民税5%減税の廃止や名古屋城天守閣の本化反対を打ち出す。市債残高は一兆六千億円。り。「お金が必要な事業は他にもたくさんある」
【経歴と出馬の動機】トヨタ自動車で品質理などに関わった後、定年退職した。政治に心を持つたのは一九九四年、自宅近くの天白園の早期実現へ、市民団体代表として約一万三千三百人分の署名を集めてから。以来、雑草茂る河川の整備を求める陳情や、市議会の傍にも頻繁に訪れた。ただ、何度も声を上げて実現しないことが多い。「市長になつたら大分ができる」と出馬を決めた。
【トレードマーク】全身黄色の格好。帽子ジャンパー。シャツやカバンも。「心が明るくなるんじゃないじゃない?」
今や名刺代

名古屋市長選。そんな「税」のあり方が争いの一つとなつてゐる。現世とも、政権を握るがす種になるが、地方の選挙での論戦は珍しい。ましてや税率ではなく、減税だから▼「庶民の情を潤す」と現職が誇る市民税減税。この七年間、総額七百六十億円余が充てられた。これもまた争点とされる、名古屋城天守閣の木造復元につき込む費用をも上回る▼片や、対立陣営は、ばれほどの市民が、自分の減税額を知っていて、恩恵を感じてゐるのか。その分を、必要な政策に効果的に振り向かせるのが政だらうと▼政治や選挙への関心の低さは、納税意識の乏しさだと揶揄される。さあ紙面を開いて、それが人柄や情熱を吟味しつつ、わが生の税の使い道に思いを巡らせるのも、なかなか面白い。（名古屋市政担当 岩崎健太朗）

ごや市長選新聞の内容は、中日ウェブと中ラスでも「名古屋市長選」特集記事と合わせてご覧いただけます。スマートフォンやパソコンで保存したり、必要な部分を印刷したりして、投票の参考にしてください。



登録のお問い合わせは
052-990-2731
CHUNICHI Web
www.chunichi.co.jp